

先週令和4年度 10月(第4回) 理事会議事録

日 時 : 令和4年12月14日(水) 19:00~20:35
本会議場および Zoom による Web 参加
出席者 : (会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室
会 長 外山洋子
副 会 長 倉重康彦、大久保文彦、緒方昌倫
総務局長 池上新一
運営理事 生田幹博、木村賢司、嶋田裕史、加藤康男、 田代恭子、新田誠、野田哲寛、浦園真司
理 事 樋口雄哉、石川雄太、吉田重人、多田利治
監 事 北里謙二、小山宣輝
事 務 局 金子千代美
(Web)
運営理事 佐藤謙一、牟田正一、赤池一男
理 事 西野達士
参 与 西浦明彦
欠 席 者
書 記 市丸加奈子、中島涼

【議 事】 司 会 総務局長 池上新一

◇議 題

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策 (1月以降) について | 外山会長 |
| 2. 第32回福岡県医学検査学会について | 新田運営理事 |
| 3. 日臨技理事会報告 | 倉重副会長 |
| 4. タスク・シフト講習会について | 木村運営理事 |
| 5. 精度管理試料作製の日当について | 外山会長 |
| 6. 医療団体協議会について | 外山会長 |
| 7. 表彰審査委員会報告 | 池上総務局長 |
| 8. 令和4年度 福岡県臨床衛生検査技師会リーダー育成研修会につて | 浦園運営理事 |
| 9. 各部報告 | |
| 10. 各支部報告 | |
| 11. その他 | |

◇会長挨拶（外山洋子）

本来でしたら12月は忘年会と言うことになるんですが、残念ながら今年もこのような状況で行うことが出来ません。師走のお忙しい時期に本日もたくさん審議することがございますが、速やかに会議を進めていただきたいと思います。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（1月以降）について 外山会長

1月以降ですが感染者が増えつつあり、第8波に入っており現状維持の体制で進めて行く。全理事承認した。

2. 第32回福岡県医学検査学会について 新田運営理事

2023年9月3日（日）福岡市の純真学園大学にて開催予定。純真学園大学には今後、正式に依頼予定。施設使用料は約30万円の予定で予算を考えながら進めていきます。特別講演は済生会二日市病院の顧問であります安藤真一先生にお願いしています。1月から本格的に会議を重ねていきますので、詳細は都度報告していく。

3. 日臨技理事会報告 倉重副会長

11月に日臨技理事会が開催されましたので、掻い摘んで報告致します。日臨技精度管理調査参加料を物価高の影響もあり値上げしたい。令和5年度は据え置きにして、令和5年度に掛った費用をベースに決定していく。実際の値上げは令和9年度より行う。役員候補者選出委員会の委員の承認として、九州支部からは緒方副会長にお願いしています。表彰関係の承認として、日臨技有功賞会長賞に元九州支部長の佐藤元恭氏、特別賞に鳥取大学医学部 浦上克哉医師が受賞された。日臨技貢献賞団体として検査技師によるワクチン接種に対応した12の都道府県すべてが受賞した。生涯教育推進研修会について各都道府県の使用状況が報告されたが、福岡県は2枠、10万円の使用であった。タスク・シフト研修ですが、要望があった県跨ぎの参加登録として、システム構築を行っている。自民党へ予算税制等に関する要望書を提出する。内容として、新興感染症に対する体制の整備、タスク・シフト/シェア推進、国民の健康を図る検体検査の品質精度管理、臨床検査技師の教育体制、在宅医療充実について。厚労省は保健所などの行政機関に専門医療技術職として臨床検査技師を配置するよう体制を整えていく。臨床検査技師の全体数把握についての法改正や病棟業務についての場合の管理加算についても要望を行っている。

4. タスク・シフト研修会について 木村運営理事

先週土日で佐賀の講習会に実務として参加してきました。無事に終了し、次からの運営も問題ないと思われました。福岡は今週の土曜日開催で、60人埋っていましたがコロナの影響で、キャンセルが出てきている状況。来年の初回は3月25日（土）を予定している。先ほど倉重副会長から報告されたが、来年4月以降より、他県の技師会員も福岡県の研修会に参加登録が可能となる予定。今後は参加が少なくなる可能性もあり、受け入れる方向であるが、こういったシステムを構築されるのか、まずは状況を見て動きたい。県外からの受講者を受け入れていく事で、承認された。西浦参与より、人数制限は設けるべきではとの意見があった。

5. 精度管理試料作製の日当について

外山会長

以前の理事会でも話が挙がっていたが、通常の技師会行事での実務委員活動より少人数で行っており、かなりの負担となっており日当を高めに設定して良いのではないかとこのことで、日当を5000円と提案していたが、時間の設定が無かったので決めて行きたい。現在の規定では4時間未満2000円、4時間以上3000円となっている。これを4時間未満3000円、4～8時間5000円、泊まり込みの作業については5000円としたい。全理事承認したが、西浦参与より、これから先今回のように一部ではなく会の活動全体としても検討していく事が必要ではと提案された。全体として考えたい気持ちではあるが、限られた予算でもあり、今回は試料作製について設定した。これも、今後作製本数が減少していけば、それに見合うように減額は行っていく。北里監事より、規約的に問題はないのか？接触することはないものと思われまます。嶋田運営理事より、試料の値段を上げて譲渡してはいかがか？試料作成に関する材料費やその他を考慮し、精度管理の予算を組んでいる。そもそも利益を生むような事業運営はいけない。

6. 医療団体協議会について

外山会長

昨日、会議があり来年の2月18日（土）に医療団体協議会セミナーが開催されることとなった。メインテーマは「covid19禍における医療職の活動報告」で、看護師、栄養師、放射線技師、臨床検査技師会の4団体より発表することとなっている。福臨技としては、大久保副会長に先日の九州学会にて発表いただいた内容で発表いただきます。特別講演として、西区にある「いなみつこどもクリニック」の院長先生にお話しいただきます。当日はお手伝いをお願いするかもしれませんので、ご協力をお願いします。

7. 表彰審査委員会報告

池上総務局長

令和6年度の叙勲の申請については規定に定められた対象者に該当がなく、見送る事となった。令和5年度の会長表彰については、各地区より1名 福岡地区 坂梨技師、北九州地区 石川技師、筑後地区 水島技師、筑豊地区 山本技師が推薦された。県知事表彰については執行部より現福岡地区長 新田技師、筑後地区長 野田技師が推薦された。厚生労働大臣表彰は日臨技が5年に一回推薦しており、各県人口に対する割り当てが決められており、福岡県は500万人を超えているため、3名を推薦することが出来るので、登録までもう日もなく、倉重副会長、緒方副会長、池上総務局長を推薦した。功労者表彰については日臨技に属して50年の方々ですが、北九州地区 金築技師、福岡地区 植田技師の2名であった。日臨技地域貢献賞は3年前新設された賞で、理事等の要職に関係なく地域貢献された方を各支部単位で1名推薦するもので、九州支部会議にて、その年の九州支部学会を担当した県より1名を推薦することと決定した。今年度は福岡県が担当した為、産業医科大学病院の本田技師を推薦した。推薦理由としてはいち早くコロナ感染に対策に取り組み、情報発信、指導にあたられたことによるものです。日臨技貢献賞は西浦参与が要件を満たしているので推薦した。表彰審査委員会ではいずれも、承認をいただいでい

るが、理事会でも反対意見なく承認された。

8. 令和4年度 福岡県臨床衛生検査技師会リーダー育成研修会について 浦園運営理事
受講対象者は各地区より4名ずつの16名と会長推薦の4名の20名。参加費は福臨技
負担する。2023年1月28日（土）開催で予定している。参加者については男女バラ
ンスを考慮したいが、偏りが出ても仕方がない。当日のグループワークについても、
各理事に参加いただきたい。完全WEBでの開催であり、zoomを使用してどこまででき
るのか。一度シミュレーションを行って確認することとなった。まだ、様々な確認
事項もあるようで、今後メールにて確認、情報共有することとなった。

9. 各部報告

●管理・運営（生田）

資料提示あり。記載をご確認ください。

●財務管理部長（田代）

提示した資料に沿った、10月、11月の会計報告。

2023年度の予算委員会を1月開催予定。三役、各地区長および会計責任者、財務管
理部を招集予定。日程は後日検討する。各地地区長の方には早めに事業計画を立て
ていただき、支出を考えておいていただきたい。

●学術部長（佐藤）

資料に沿った学術研修会の開催状況報告。

第31回福岡県医学検査学会の受賞者について。9月の理事会にて確認いただい
ていたが、学術部長から会長宛に報告する正式な手続きが遅れていた。今回は症例
報告賞に該当がなく、一般演題最優秀賞と一般演題優秀賞とした。九州大学の小
川技師、吉本技師です。反対意見なく承認された。

●精度管理（牟田）

精度管理事業部委員数名で久留米日赤血液センターへの血清回収作業を行っている。
11月23日に1回目を終了、2回目は12月29日を予定している。7～8時間の
作業で計3回を予定しているが、1回目でかなりの量の採取が出来たため、2回で
終了できるかもしれない。日赤には次年度分の血清回収作業の申請をすでに行っ
た。

12月31日にサーベイ試料の最終発送準備を福大筑紫病院にて行う。

2023年度の多団体への試料発送ですが、年3回8月、10月、12月に行うと決まっ
たので、そのお知らせと申込用紙の発送をこれから行っていく。

2024年度以降、九州以外の多団体への試料提供の中止が決定したが、まだ案内が
出来ていない。

2024年度の九州地区への提供だが、九州支部会議では縮小する方向だが提供は行
うとの話で終わっていた。かなりの本数を申請してくる県があり、ここを抑制し
なければ負担軽減にはつながらないので、三役を交え検討していく。

西浦参与より、施設に立ち入るような作業の場合は申請し許可を得ることを都度
行った方がよいとの助言あり。

●広報・情報管理（嶋田）

創立 70 周年記念誌の発送は 1 月を予定しています。

HP に掲載予定の会員名簿について、作製されたファイルの提示あり。エクセルなので、ある程度の検索はできる。秋口を目安に、年 1 回の更新を予定している。まず、掲載してみて改善点があるようであれば、更新の時に見直していく。今後、パスワードの設定やセキュリティ強化について、ユアシスと詰めていく。

HP にはまだ九州学会のバナーが載っている。更新予定はないので削除とする。会誌ふくおかの 3 号作成のため、資料を提示し執筆案が示された。まだ時間もあるので内容を修正しながら、計画していく。

●企画運営（木村）

先ほど報告した、タスク・シフト研修会のみです。

●公益事業部長（加藤）

報告事項なし。

10. 各地区報告

●福岡地区（新田）

資料に沿った会議報告。地区学術部長の転勤に伴う交代のお知らせ。

●北九州地区（赤池）地区長は不参加

資料に沿った研修会と会議報告。

柳本氏の厚生労働大臣表彰について、2023 年 6 月 10 日（土）開催となった。

●筑後地区（野田）

明日予定の後期講演会が講師の体調不良にて中止となった。今後、開催を再検討予定。

●筑豊地区（浦園）

資料に沿った研修会と会議報告。

来年の 1 月 19 日に新春講演会、2 月 16 日に筑豊臨床検査発表会を予定している。

11. その他

◇共催申請 0 件

◇後援依頼 1 件

① 申請団体：関門地域感染症研究会 第88回抗菌薬適正セミナー 2023/1/18

反対意見なく承認された。

その他

外山会長より

日臨技より、ニューリーダー研修会参加の依頼があっている。これまで、受講していない方が対象となっている。条件は 30 代～40 代半ばくらいの年齢で、いずれは県技師会を引っ張っていくような人を推薦してほしいとのこと。今回は来年 2 月に開催されるが、筑後地区の一村技師を推薦したい。その次は福岡か北九州より人選したいと考えている。

議事録署名

_____印

_____印

_____印